

子どもの未来応援団報告書

表題：第26回北信越小学生ソフトテニスインドア大会出場

団体名：伊那ジュニアソフトテニスクラブ

代表者：富岡順子

活動人数：選手3名 指導者2名 保護者3名

(1) 活動を始めた理由

スポーツを通して子どもたちの生きる力・人間性を育みたいと2022年より活動をスタートした。

子どもたちは暑い日も寒い日も熱心にソフトテニスの練習に取り組んでいる。特に冬場は練習場所の確保が困難だが、テニスコートが取れない日でもリズムや体幹トレーニングなどを前向きに行い、レベルアップを図っている。

1年目は県大会に出てもレベルの差がありすぎたため、2年目は楽しみながら技術力を向上することを目指し基礎練習に注力、3年目となる今年は再び県大会にチャレンジし、6月の北信越大会、1月の北信越インドア大会、3月の全国大会出場の切符を得ることができた。

試合会場が遠距離にあるため子どもだけでは参加できないので、保護者も同行し、良い経験を積ませたいと考えた。

(2) 活動内容・活動の写真(カラー)

第26回北信越小学生ソフトテニスインドア大会に、5年男子ダブルスに富岡郁翔・北原叶登ペア(南箕輪南部小5年)、4年以下男子ダブルスに田中快(西春近南小4年)が長野市のチームの子とペアを組んで出場した。





(3) 活動結果

3チームによる予選リーグを戦い、両ペアとも予選リーグを抜けられず敗退となった。

富岡・北原 0-③ 丸谷・小林 (新潟)

富岡・北原 0-③ 金子・九澤 (富山)

田中・佐藤 1-③ 石崎・笠原 (新潟)

田中・佐藤 ③-1 内田・上口 (福井)

普段の練習の力が出せず、悔しい結果となったがこれが今の實力であることを知ることができた。

負けて悔し涙を流す姿もあり、今後の成長に期待したい。